平成28年度行政評価　施策評価シート　（平成27年度実績）

施策名　循環型社会の構築

施策コード	040303

１．施策の担当

主管課	生活産業部 環境衛生課
関係課	

２．総合計画における位置づけ

総合計画	政策	第４章　安全で、ひとと地球にやさしいまちづくり（安全・環境）	節	第３節　環境衛生・環境保全
	施策	循環型社会の構築		

基本方針

・市、市民、事業所の役割分担と相互連携を図り、循環型社会の構築を推進します。

現況と課題

・ これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄といった生活様式の定着により、環境への悪影響、資源の浪費などの問題が生じてきました。今後は、廃棄物の排出抑制（リデュース）、製品などの再利用（リユース）、資源としての再利用（リサイクル）の３Rを基本とする循環型社会の構築を地球規模で進めることが必要です。

施策目標

対象（誰を、何を、どこを）

市民及び事業者

意図（どのような状態にしたいのか）

使い捨ての文化を見直し、３Rに基づいたライフスタイル・ビジネスへの転換を促進します。

３．市民ニーズ

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
満足度（偏差値）		51.4					
重要度（偏差値）		50.3					

４．施策にかかるコスト

		単位	H26決算	H27決算					
コストの内訳	人件費	千円	92,965	103,402					
	事業費		881,541	891,577					
	フルコスト		974,506	994,979					
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0					
	府支出金		121	170					
	市債		0	0					
	その他		227,938	216,365					
	一般財源１（＝フルコスト－特定財源）		746,447	778,444					
	一般財源２（＝直接事業費－特定財源）		653,482	675,042					

５．施策の成果指標

① 成果指標１　一般廃棄物（ごみ）の再資源化量

項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	3,390.0	3,400.0	3,116.0	3,179.0	3,209.0	3,209.0	3,241.0
実績値	3,152.0	3,191.0	3,197.0	3,064.0	3,038.7		
達成度	92.98	93.85	102.6	96.38	94.69		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
循環型社会の構築を推進するため、再資源化を進めていく必要があります。一般廃棄物の再資源化量の増加により、ごみの分別・リサイクルに対する市民への啓発が進んでいるかがわかります。	平成２４年度までは「第５期分別収集計画（平成２１年３月）」、平成２５年度は「第６期分別収集計画（平成２２年６月）」、平成２６年度は以降はごみ処理基本計画（H26.3）より。	ごみの排出量そのものが減少しているため。

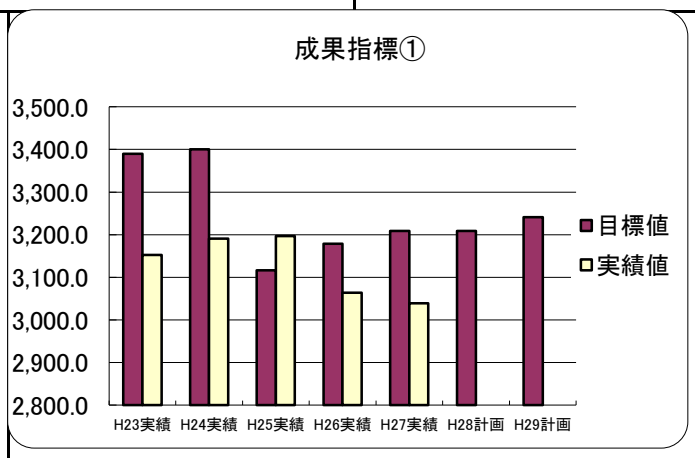
② 成果指標２	容器包装プラスチックの再資源化量						
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	617.0	619.0	603.0	604.1	610.8	610.8	624.0
実績値	621.0	635.0	626.0	608.0	617.0		
達成度	100.65	102.58	103.81	100.65	101.02		

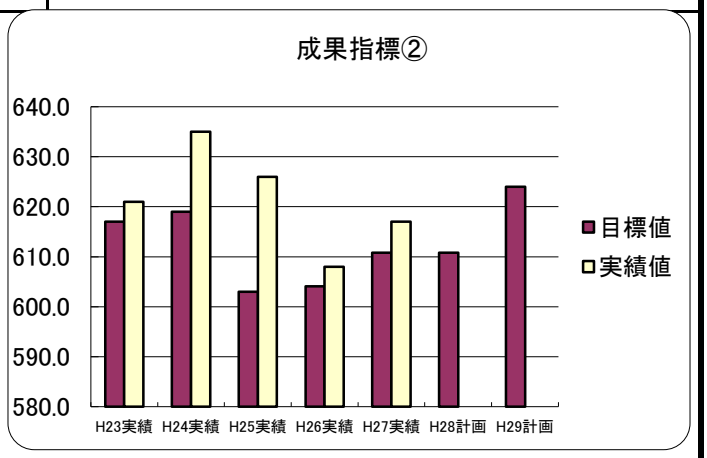
指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
循環型社会の構築を推進するため、再資源化を進めていく必要があります。容器包装プラスチックの再資源化量の増加により、ごみの分別・リサイクルに対する市民への啓発が進んでいるかがわかります。	平成２４年度までは「第５期分別収集計画（平成２１年３月）」、平成２５年度は「第６期分別収集計画（平成２２年６月）」、「平成２６年度以降はごみ処理基本計画（平成２６年３月）」バックデータより。	ごみの排出量そのものが減少しているなか、容器包装プラスチックに対する理解が進んでいる。

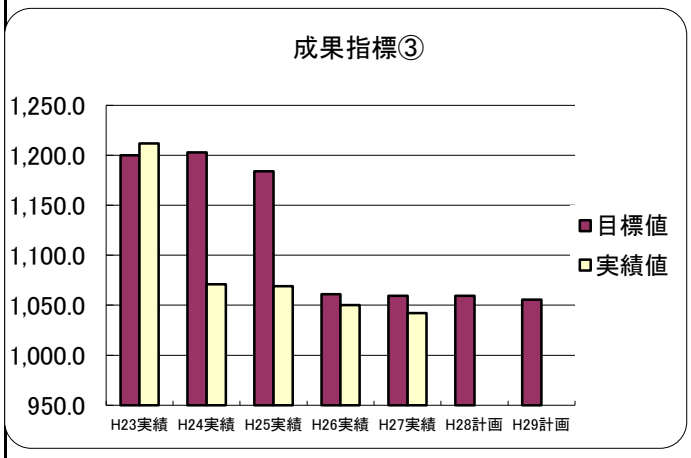
③ 成果指標３	カン・ビン・ペットボトル本体の再資源化量						
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	1,200.0	1,203.0	1,184.0	1,061.0	1,059.3	1,059.3	1,055.5
実績値	1,212.0	1,071.0	1,069.0	1,050.0	1,042.0		
達成度	101.0	89.03	90.29	98.96	98.37		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
循環型社会の構築を推進するため、再資源化を進めていく必要があります。カン・ビン・ペットボトル本体の再資源化量の増加により、ごみの分別・リサイクルに対する市民への啓発が進んでいるかがわかります。	平成２４年度までは「第５期分別収集計画（平成２１年３月）」、平成２５年度は「第６期分別収集計画（平成２２年６月）」、「平成２６年度以降はごみ処理基本計画（平成２６年３月）」バックデータより 。	ごみの排出量そのものが減少しているため。

図表







６．施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価（担当課による評価）	施策の成果レベル（過去の推移、周辺市との比較なども含む）	（４点中） 3	平成１８年度からごみ袋の有料化、平成２０年度から容器包装プラスチックの再資源化を実施している。近隣の市町でも有料化等が進んでいる。
	施策に対する市民ニーズ	（３点中） 2	市民アンケートでは22.3(H19)から51.4(H24)と満足度が向上している。また重要度が高いことからニーズが高い施策である。容器包装プラスチック類の出し方については複雑な部分もあるため、ピーク時ほどではないが依然問合せがある。
	施策を取り巻く状況（法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など）	（３点中） 3	廃棄物処理を取り巻く状況は、減量化・リサイクルを優先するシステムへ、循環型社会への転換を求められており、「循環型社会形成推進基本法」をはじめとする各種リサイクル法の制定・整備が行われている。
	合計点	（１０点中） 8点	
	総合評価	B	引き続き適正な再資源化に取り組んでいく。
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）		B	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価（理事者による評価）		B	引き続き目標値の達成に努めること。

７．施策を構成する事務事業

事務事業			H27年度決算額			H28年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01030700	ごみ収集事業（環境衛生課）	98,971	891,452	675,102	904,332	B
2	01080080	廃棄物中継施設管理事業	4,431	125	-60	252	B
合計			103,402	891,577	675,042	904,584	